

## 貝塚市 市民ワークショップ 議事録

### 1. 実施概要

市民の意識や行動啓発等、温室効果ガス削減の施策に資する意見交換等を目的として、住民を対象としたワークショップ（9月23日）の開催支援を行った。以下にワークショップの開催概要と参加者よりのご意見を示す。

図表1 第1回市民ワークショップ会議

#### ■開催概要

日 時	令和5年9月23日(土)10:00~12:00
場 所	貝塚市市民福祉センター 4階 多目的室
出席者	対象地域 貝塚市全域 市民14名 関係者 貝塚市環境衛生課
主な内容	◆情報提供 地球温暖化と貝塚市の現状について説明を行った。 ◆意見交換会 温暖化に関する現状と地球温暖化対策に向けた自身の行動や感じていることについて、各班で意見交換を行った。 ・ 地球温暖化による影響とは ・ 日常で行動できる地球温暖化対策とは ・ 実際の行動に結びつけるには

■ワークショップ開催と頂いたご意見

議 題	頂いたご質問・ご意見
◆情報提供	<p>地球温暖化と貝塚市の現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貝塚市の CO2 排出量の現状は？目標との乖離がわからないと実施しづらい。 ⇒ (受託者) 貝塚市は産業部門約 3 割、運輸約 3 割、家庭約 2 割、オフィスなど業務その他が約 2 割弱、廃棄物が 0.5 割。自治体により部門の割合多少の特徴がある。</li> <li>・ 貝塚市の取組は？ ⇒ (市) 補助事業などを実施している (資料提示)</li> <li>・ 新庁舎に再生可能エネルギーは導入されているのか ⇒ (市) 太陽光発電設備 (20kW) を導入している。発電量は市役所玄関に掲示中。</li> <li>・ 資料中 (事務事業編) の「35%」という数値は、新庁舎の太陽光パネル導入によるものか。 ⇒ (市) 「事務事業編」での数値であるため、市役所庁舎だけでなく、市の公共施設全体の削減量である。</li> <li>・ 2050 年までに再生可能エネルギーの利用率が 100 パーセントになるのか。 ⇒ (市) 2030 年に温室効果ガス削減量を約 50 パーセントにする目標である。2050 年はカーボンニュートラルとあって、排出量と吸収量をプラスマイナスゼロにしていくという考え方である。</li> <li>・ 環境再生の取組を実施している者であるが、そのような内容ではないように思えた。 ⇒ (市) 区域施策編では、森林分野で吸収対策を考える。環境再生の取組をこちらで活かしていきたい。</li> <li>・ 地球温暖化対策に向けた市の具体策はあるか？ ⇒ (市) 具体的な施策を今回の「区域施策編」で検討していく予定である。</li> <li>・ 具体的な議論をするには、貝塚市が何を通じて、どのように CO2 排出量を削減したか提示してもらえないと議論が難しい ⇒ (市) 詳細は示していない。しかし、今回の WS の主旨は、地球温暖化の影響への感じ方や対策に向けた行動について意見を頂きたいという状況であるので、ご理解いただければと思う。</li> <li>・ 貝塚市の区域施策編策定は周辺自治体と比較して遅れているとうことか？</li> </ul>

	⇒ (受託者) 現状では、少し遅れている。
◆意見交換 【1班】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地球温暖化による影響とは <ul style="list-style-type: none"> <li>① 災害 (水害、台風発生回数等)</li> <li>② 気候・気温</li> <li>③ 生物・作物 (生態系への影響)</li> <li>④ 気温上昇に伴う、CO2 発生の増加 (例: エアコンの使用状況)</li> <li>⑤ 病気</li> <li>⑥ 次世代への影響</li> </ul> </li> <li>・ 日常で行動できる地球温暖化対策とは <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;できる&gt;</li> <li>省エネ行動</li> <li>移動手段の変更、アイドリングストップ</li> <li>ゴミの削減</li> <li>森林・緑地の保全</li> <li>&lt;できない&gt;</li> <li>家や自動車の買い替え</li> <li>地球温暖化対策に向けた行動の義務化 (太陽光パネルの設置など)</li> <li>再生可能エネルギー発電会社の選択 (選択肢が少ないため)</li> <li>企業からの提供物に対するゴミの削減 (梱包材など)</li> </ul> </li> <li>・ 実際の行動に結びつけるには <ul style="list-style-type: none"> <li>1人1人が考え、みんなで話し合うことで変化を生み出す。企業努力につなげることができれば、再エネ発電会社の増加やそれに伴う選択肢の増加、企業からの提供物から生じるゴミの削減を達成することができる。</li> <li>設備導入に対する費用補助</li> </ul> </li> </ul>
◆意見交換 【2班】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地球温暖化による影響とは: 意見の出たキーワードを記載 <ul style="list-style-type: none"> <li>①気候・気温</li> <li>②健康</li> <li>③生物・作物 (生態系への影響)</li> <li>④災害 (山火事・水害等)</li> <li>⑤省エネ設備の普及</li> </ul> </li> <li>・ 日常で行動できる地球温暖化対策とは <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;できる&gt;</li> <li>省エネ行動</li> <li>環境学習・カーボンフットプリントの意識</li> <li>公共交通利用、自転車利用</li> </ul> </li> </ul>

	<p>&lt;できない&gt;</p> <p>法律強化・各種省エネ設備や機器の研究開発</p> <p>電気自動車の充電設備が少ない、EV 車導入困難や不安がある。</p> <p>自転車駐輪場・専用道の整備が少ない、自転車利用の妨げになる。</p> <p>省エネ設備の費用が高額</p> <p>リサイクル・リユースの手続きが煩雑で面倒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際の行動に結びつけるには</li> </ul> <p>新しいサービスの積極的な利用（市の「あげます」カードや、ジモティなどリユースサイト）</p> <p>新しいサービスの妥当性を確認する、その知識を得る（本当に脱炭素に貢献するものなのか）</p> <p>設備導入に対する費用補助</p>
<p>その他ご意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民会議等は計画の経過、進捗も教えて欲しい。</li> <li>・ 子供（18歳以下）が参加できるようなワークショップやイベントを開催して欲しい。大人だけでは勉強しないが、子供と一緒にであれば真剣に学び、考えることができる。</li> <li>・ 環境を保全する担い手が少ない。</li> <li>・ 年金を受け取る世代は省エネ等、出来ることは全て行っている。これ以上の行動は難しい。</li> </ul>



